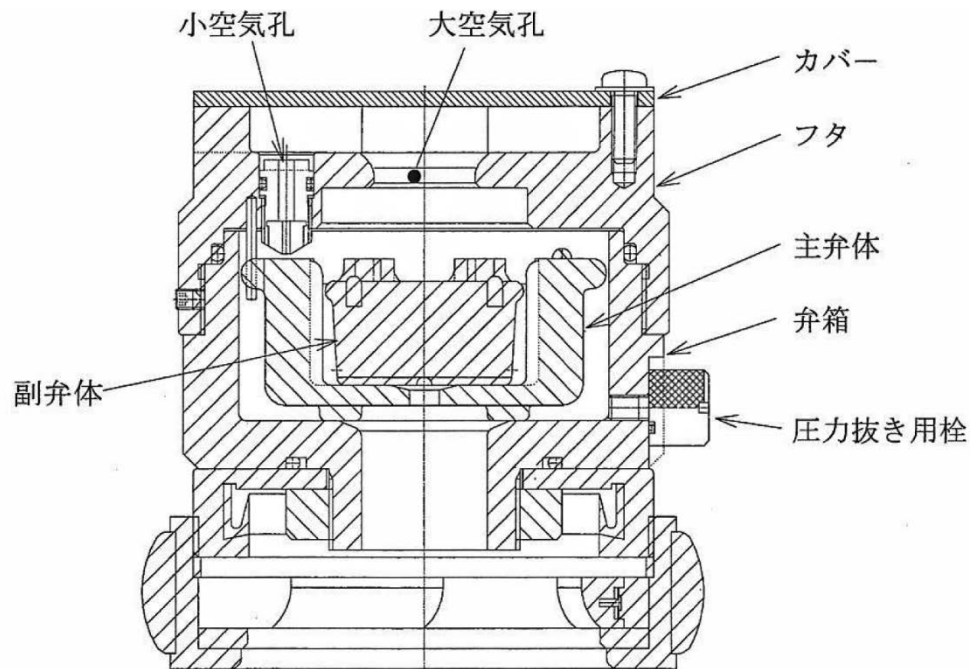


1. はじめに

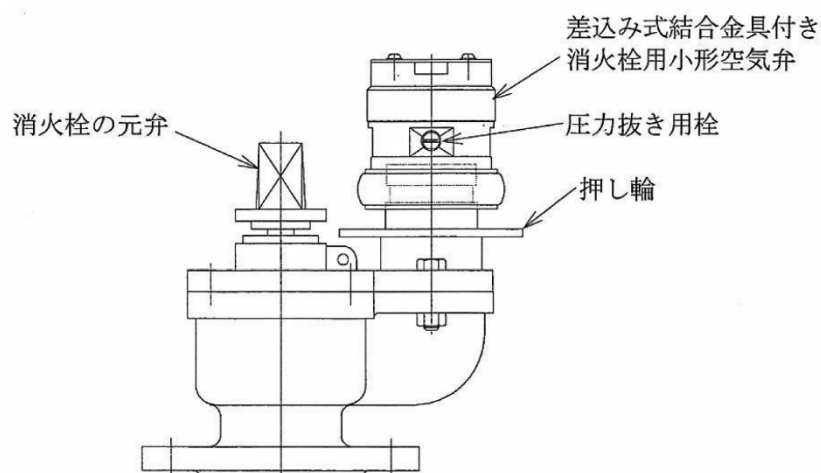
水道配管において、充水時の管内空気の排気、水の中に混ざっている空気の排気や負圧発生時の管内への吸気などの目的より、空気弁を使用しています。空気弁を設置していない場所では、既設の消火栓を少し開いて、空気を排出することが、頻繁にあります。「差込み式結合金具付き消火栓用小形空気弁」は、既設の消火栓の放水口に接続して、自動的に、空気を排気する空気弁です。

2. 構造

差込み式結合金具付き消火栓用小形空気弁（以下、小形空気弁という。）は、多量排気機能の大空気孔と圧力下排気機能の小空気孔を備えています。二つの空気孔に対し、主弁体、副弁体の二つの弁体が、弁箱の中に遊動可能に設置されています。小形空気弁は、市場性のある差込み式結合金具に固定しています。



(図1 : MC 空気弁の概略図)



(図2 : 消火栓の使用例の概略図)